京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久紳一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

雜錄

内外塵醐

一記者

▲金融と感情 手形組合は較進歩したる經濟界にも組織されて當國の安全を保障し金融を圓滑ならしむるの效果を見しつゝある、其の之れを韓國の財界に適應すべく換骨脫体して度支部の親切なる保護監督の下に、譬へば金融界の後見役たる働きを爲せるが即ち韓國に於ける手形組合である、而して其の代表的なるは云ふ迄も無く漢城手形組合であつて、創設以來僅かに三四年を經過せるのみなるにも拘はらず今は著しく漢城財界の信頼を贏ち得て、社界をして彼の亂暴なる當年の金融狀態を回憶したる當局が先見の明を稱へしむるに至つたのは、大に慶ずべきである併しながら利害得失は多くの場合相伴ふもので手形組合が如何な善制であるにもせよ其缺に洩るゝことは殆んど不可能であらうと思はれる、夫れは手形組合の制度が悪いのでは無く、又其措置に闕然する處わりとするのでも無い、實は組合の性質が金融界に於ける感情を禁遏すべきの使命を帶びたるが爲めである、又之れを他方より見れば感情上同組合が公設の言はゞ信用調査機關であるが爲めに極度に其信頼を覊束するより起るとすることも能きる、吾輩が研究すべき問題とせるは即ち這個の眞相を明瞭にし之れに加ふべき方法を講じたいのでは無い、斯くして金融と感情の關係を得會せんと欲するのである。何事にまれ大なる弊害を除去せんが爲めには小なる利益を犠牲とするの苦は忍ばねばならぬ、然るに手形組合の存在に對する韓人の分別は其組合員たると否らさるとを問はず、小なる弊害の爲めに大なる利益を殺がれるやうの感を起して居る、無論之れは理論で無い彼等の感情である、が感情にも「物の道理」が伴ふ、夫れは至つて簡單で一種物の哀れを感ずるのである、即ち手形組合創立以前に於ては自巳の信用は自巳の顏と口とを以て或程度迄は伸縮することも出來た、然るに組合創設以後は甚だしく信用の範圍を狹められたといふのである、随て彼等は金融に對する習慣智識を根本より革めざるを得ないこととなつた、例之者刺されたる空相場を廢して現物取引を開始すべく强要さるゝに至つたのである、其の之れを不便とするは無理ならぬ處である(未完)

雜報

錦愛鐵道と英國

或る筋に達したる電報に據れば英國外務大臣サー、エドワード、グレー氏は議員の質問に對し錦愛鐵道の出資及び敷設に關する權利を英國及び米國の會社に附與せられたる旨の報道に接せりと答へ更に之に附言して曰く千八百九十九年の英露協約の公式にして廢せられざる以上同鐵道の敷設權許與に關しては以前と同樣の故障を適用せらるべしと述べ英國政府は本問題に關して飽く迄愼重なる態度を支持すべき旨を言明したりと云ふ蓋し千八百九十九年の英露協約とは英國は何者の爲めにするも萬里の長城以北に於て鐵道敷設の許可を要求せず且つ同地方に於て露國の支持する鐵道に對して妨害せざる旨を締結したるものにして世人は同協約の效力を疑ひしに英國自ら其の有效を宣言したるは寔に稱贊に値すべし然るに同問題に就ては日本は決して絕對的に反對せず英米のシンヂゲートと同樣の條件を附與するに於ては本計畫に加入すべき旨の提議を附與したるに淸國は之に對して何等の回答を爲さゞるのみか他に幾多の事情纏綿し來りて目下行惱の姿に在り又米國資本家中にも最早や當初の如き熱心を有せざるものゝ如ければ建設の特許云々は全然無根にして本問題は當分の間到底圓滿なる解決を見る事能はざるべしと某消息通は語れり

米國提議の經過

米國の滿洲鐵道中立提議は日露兩國の不同意回答に依りて問題自体は直ちに解決せられたれば過般議會に於て大石正巳、尾崎行雄氏等より小村外相に對して其の經過の發表を促したるに外相は時期尙早なりと拒み今日之を發表するは却つて國家に不利益なれは近き將來に於て適當の時機を選み其の文書を公表すべしと述べ居りしが此の程更に聞く所に據れば種々の關係上未だ其の時機に達せすと爲し當局者は猶は當分之を發表する事なかるべしと云ふ

●暴徒と衝突 京畿、黄海、江原三道に於ては去月以來暴徒の搜索嚴重なる爲め暴徒は或は土民に扮し或は三々伍々に分れて各所に出沒しつゝあるが十八日午後五時頃佳麗州分遣所の大友上等兵は補助員三名を卒ひて搜索中伊川郡古味呑面に於て賊魁姜千突の先方將鄭某の卒ゐる七名の賊と衝突し激戰約二十分にして賊は銃二挺、軍刀四本、火藥若干、白木綿三疋を委棄して平康郡方面へ潰走したり

地方電報

▲平壌通信

▲軍用地と小作貸附 今回平壌郡衙より同民團へ引渡されたる平壌驛附近一帶百六萬坪の舊軍用地に對する今後の處分方に就ては民團より一般韓人希望者に貸附を許す事となり右に就き民團にては過日同地に於ける從來より引續き農作せる小作人及舊地主等を召喚し同地に對する民團の今後の方針に就き說明する所ありたるが彼等小作人等は多くは其貸附料金の大差なきが爲め從農作を繼續する事となり又舊地主に於ても從來よりの關係上民團より新に同地の一部を借り受け更に小作人に貸附くる者等あり同地引渡善后の始末に就ては都合好く纏りたる事なるが當民團にては念の爲め右の始末を近く郡衙に報告し同地舊地主等に對し土地の引渡し始末を詳細に周知せしむる筈なりと

▲徳川蠶業練習所 平壌觀察道にては徳川郡に蠶業練習所を設置する事となり既に之が家屋も定り又之が主任者は十六日同地へ向け出發する筈なるが其目的は由來徳川郡の名物たる紹紬の改良と同養蠶の改良奨勵を圖るにある由なり紹紬の改良に就ては同觀察道にて夙に之に注目し從來實施の手數を經て研究する所ありたるも之が織方其の宜しきを得ざる爲め染色せざると織方の「スカシ」より支裂し易き等の缺點あり從來韓人間に於て用ひ來れるが如く之を「ツルマキ」用とするか其他取扱方の創しからざるに於ては其用に耐ゆべきも一般衣服日本人向の帶等には到底適當せざるものあれば今回專門の技術者を聘し之が改良を圖る事となしたる次第なり又養蠶に就ては從來韓國に於ける養蠶は何れも溫室内にて行はれたる爲め面積に限りあるの點よりして飼育の量少く爲に各自希望する量を充たす能はず頗る不便なるものあれば之亦觀察道にては今回特に東京より之に用ゆる棚百個附屬器具五百個を取寄せ狹隘なる溫室内にても之が裝置の如何に依り比較的多量の蠶兒を育成し得べき模計畫し一般に此新飼育法を周知普及せしめて大に奨勵する事としたるものなりと云ふ因に同練習所にては凡て韓人の婦人のみを練習する筈にて之が教師は同村婦人にして東京西ヶ原學校を卒業したる者を以て充る事としりたと

俳句

▲春五句　千春

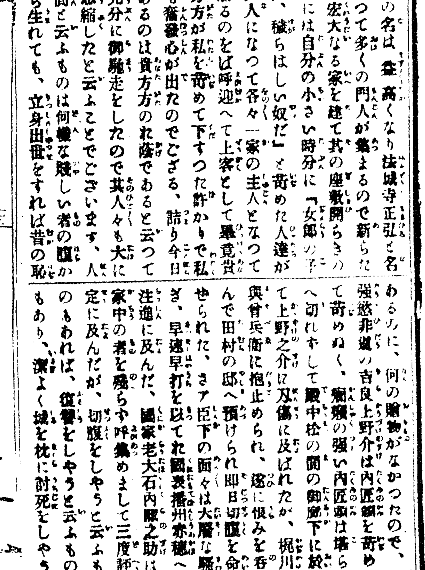
美くしき光りや竹の秋の月
八重とはちつくり高し草の餅
海棠や紅屋の門の赤のれん
有明や茶つみ許りの一と渡し
男一人なぶられて居る茶摘かな

日本銘刀傳

第九十六席 法城寺正弘(十八)

邑井一講演

一心と云ふものは恐ろしい、重次郎は一竿齋の許にあつて修業をしたが、何しろ母親から何うか妾の恥を雪ぐやうに父さんのれ名を隕さぬやうにと勵まされ、矩隨からは自分の母親が自害してまでも自分を勵まして呉れた話をして奮發を促すので、重次郎は萬更鹿馬でないから愚圖々々しては居られない日夜勉强して修業しましたので、腕前がメキ／＼と上達してもう立派な腕前になつた、師匠から名を正弘と貰ひ大層評判が好い、師匠の一竿齋は七十の高齡に達し隱居したので正弘が師の名代となつて多くの弟子を預かり、諸大名の注支は澤山にあつてもう一家を爲して宜いと云ふ師の許しを受け上六番町に家を求め母親を引取りて孝養を盡くす、其内に一竿齋も病死したので正弘の名は益高くなり法城寺正弘と名乗つて多くの門人が集まるので新らたに宏大なる家を建て其の座敷開らきの時には自分の小さい時分に「女郎の子だ、穢らはしい奴だ」と苛めた人達が大人になつて各々一家の主人となつて居るのを呼迎へて上客として畢竟貴方方が私を苛めて下すつた許かりで私も奮發心が出たのでござる、詰り今日あるのは貴方方のれ蔭であると云つて充分に御馳走をしたので其人々も大に恐縮したと云ふことでございます、人間と云ふものは何樣な賤しい者の腹から生れても、立身出世をすれば昔の恥を雪ぐことも出來、多くの人の師となつて人の上に立つことも出來るものであります、新刀の大家法城寺正弘の傳記も是れにて終り、次は有名は津田近江守の一件岡島八十右衛門の下男直助の御話、是れも一つの立志談でございます



時は元祿十四年三月五代將軍綱吉公の母君桂昌院殿へ一位の位を授けらるゝ爲めに朝廷よりの御使が江戸へ下向あり、此勅使饗應の役を仰付けられたのが、淺野、伊達侯の御兩人、伊達侯は師匠番たる吉良上野介へ澤山の賄賂をしたが、淺野内匠頭は御家御内顧であるのに、何の贈物がなかつたので、强慾非道の吉良上野介は内匠頭を苛めて苛めぬく、癇癪の強い内匠頭は堪らへ切れずして殿中松の間の御廊下に於て上野之介に刃傷に及ばれたが、梶川與惣兵衛に抱止められ、遂に恨みを呑んで田村の邸へ預けられ即日切腹を命ぜられた、さア臣下の面々は大層な騒ぎ、早速早打を以て國表播州赤穂へ注進に及んだ、國家老大石内藏之助は家中の者を殘らず呼集めまして三度評定に及んだが、切腹をしやうと云ふものもあれば、復讐をしやうと云ふものもあり、潔よく城を枕に討死をしやうと云ふ人もある、何うも評議が一決しない、内藏之助は考へました、此上は已むを得ないから御寶藏を開らいて金子を一同へ分配して思ひ／＼に退散するより外はないと考へたから、そこで改めて家中一般へ回狀を廻はした、其題狀に『各々方と先達より種々の評議に及び候へども、何分切腹などは思ひも寄らず依て先君御貯への金子を盡く各々方に配當致し候間、明日早朝より相違なく登城相成り度候』と云ふのだ、今も昔も慾の無い人間はない、元祿十四年四月三日夜の明くるを待つて盡く登城した、家老大野九郎兵衛、伜郡右衛門、大石内藏之助、伜主税良金も出仕しました此の大野九郎兵衛と云ふ人は强慾非道の男でありますから内藏之助と說が合はない、一同着席致すと内藏之助は中央に進出で「時に各々方に申入れる、此程來三回迄も評議を重ねましたが、或は切腹と言ひ或は籠城と云ひ何分議が纏まりません、依つて止むを得ず城を穩便に明渡し、我々は何國へなりとも何所なりとも、心のまに／＼立退くことに致さうと存ずる、殘念ながら城を明渡すより外はござらん就ては亡君の貯へ置かれたる軍用金も澤山これあり、是れをば家中一統へ分配致さうと存ずる、此儀如何のものか尤も御領内通行の金札は引換へねば相成り申さんから、此金札の分だけの高は別に致し置くから左樣御承知を願ひたい、如何でござるな御一同

廣告

皮膚梅毒
泌尿生殖科
眼科外科
龍山老松町 十字病院 (電話三一四)

横井陸軍軍醫監閣下御處方
戸塚山本兩軍醫總監御證明
ゴフクメグスリ
五福眼藥
壹瓶拾錢 各藥店にあり
本舖 大阪 安住大藥房
「坊やはあんまりいたづらだからこんなはやり眼がうつるんですよ、サー此五福目藥をさしてあげましようすぐなほりますよ」
「母ちやん此目藥は大變いゝ氣持ですよ」

酒銘 白雪
龍山京町 灘屋 電三三一

最上醤油

襖並に表装一式
材料販賣 勉强
龍山大島町 尾崎表具店

各科診療
入院隨意
龍山元町二丁目 佐藤病院 (電話一〇三番)

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室(皮膚病黴毒泌尿生殖器科教室)奉職の處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒淋病膀胱病(生殖器機能障碍)の診療に從事
診療(午前自八時午前二時迄 夜間自五時九時迄)
入院隨意
南大門通三丁目 支那領事館前通 京城郵便局後
電話一一七三番
院主 佐藤伊[illegible]
佐藤皮膚病院

米國プロクター、エンド、ギヤンブル會社製品
IVORY SOAP
アイボリー石鹸
Procter & Gamble, Cincinnati
●僞物あり●
入浴にも、化粧にも、食器衣類の洗濯にでも適します
●商標と包紙に御注意●

東京電報

▲大演習と參加師團 本年十一月舉行の特別大演習參加師團は第十師團第五師團第十七師團にして演習地は岡山附近に決せり(二十日)

▲佐久間艇長の遺書 第六號潜水艇が新港沖合に於て操練中沈沒し佐久間艇長以下十四名は悲慘の最後を遂げたる近時の大慘事として世人の同情に堪へざる處なるが今回檢視の結果佐久間艇長の遺骸より一封の遺書を發見せり其の意は本官の艇長たる第六號潜水艇は母艦を離れて潜水試練中遂に機關に故障を生じて浮揚する能はずして部下十四名を空しく見殺にせる罪は謝するに辭なしと記しありたり(同上)

▲遭難者へ下賜金 遭難潜水艇長以下へ 天皇陛下より金七千圓御下賜相成りたり(廿日)

▲署長會議の諮問 目下開催中の全國大林區署長會議の諮問事項は一事務に簡易、二伐木造林選擬現業員の給與期改正、三施業案編成上事業區域外に使用し得べき區畫を一般的に應用の當否、四有價樹栽培及保護並に取扱、五栽培地整理意見、六栽培製材事業の成績及整理方法、七栽培處理實行內規の利害等なり(同上)

▲政友會と教科書 政友會は教科書不足問題に就き調査委員を設けん筈なるが愈々着手せば刑事問題を惹起せんも圖られず今回の不足は百二十五万冊にして之を充實するには一二箇月を要し百餘萬の學生は無教科書の惡現象を呈せり(同上)

▲靖國神社に合祀 韓國暴徒鎭壓に從事し死沒せる軍人軍屬を靖國神社に合祀未濟の者を合祀し五月五日招魂祭を舉行し同六日臨時祭を行ふ(同上)

▲文部省の學位授與 文部省にては本日論文提出の左の十名に學位を授與す(同上)

京都醫學專門學校長　望月純一
同　教授　工藤三郎
京都醫科大學助教授　安倍仲雄
大阪高等醫學校教授　緒方十左衛門
仙台醫學專門學校教授　志摩柳二
金澤　同　松原三郎
以上醫學博士
外國留學中　木下秀吉
東京帝大理科教授　眞島利行
東京高等師範教授　片山正男
同　上　小川正孝
以上理學博士

雜報

▲兩師團長の謁見 今回駐韓師團の交替するに付木越第六師團長並に第二師團長は石塚長官帶同來る二十三日昌德宮に參內し韓皇に謁見する筈なるが當日は佐官以上の將校も共に謁見すべしと云ふ

東拓漁船の到着 東拓會社經營の漁業に從事する爲め熊本より派遣したる漁船の一部七十艘は既に日本を出帆したるが同船は來る二十二日根據地に到着の豫定なりと尙は會社に於ては安東縣の鎭市浦を滿鐵より借入れ之を根據地と爲し圓島、大和島、雲霧島及び何日里浦を支所とし夫々職員を派遣したりと

輕便鐵道敷設決定 北韓の西水羅より土里に至る五哩六十鎖の間に於て輕便鐵道を敷設せんとの計畫は曩きに石井新氏の發起に依りて調査中なりしが今回李址鎔(一萬圓)石井新(一萬圓)櫻井淳平(一萬圓)古城菅堂(一萬圓)中尾辰介(一萬圓)外二名六萬二千五百圓の合資會社にて事業を經營することに決定し二十日を以て京城清津兩理事廳に願書を提出したるが其主たる目的は乘客及び貨物の運搬にして附屬事業として漁春及び開島の貿易を營む筈なりと云ふ

●地方費支辨と勸業 地方費支辨により補助さるゝ各道の勸業事業は左の如し

京畿道	機業組合、陶器組合、製莚組合	計千八百圓
忠淸北道	農產品評會	計三百圓
忠淸南道	農產品評會、苗圃蠶業傳習	計千九百圓
全羅北道	物產品評會	計百五十圓
全羅南道	蠶業傳習所、工業傳習所、製紙傳習所、稚蠶種育場	計二千九百五十圓
慶尙北道	產業傳習所、農產品評會	計二千九百圓
慶尙南道	蠶業傳習所、製紙傳習所	計六百圓
黃海道	農事試作場、模範部分林補助	計二千九百圓
江原道	農事試驗場、蠶業傳習所、種蠶飼育	計九百五十圓
平安道	養蠶傳習所、養蠶補助	計五百四拾圓
咸南道	果樹購入、種子交附費	計百四拾圓
咸北道	農事試作場	計百五拾圓
計		壹萬五千二百四十四圓

●三月中の氣候概況 本月は中部以北は中旬に至るも尙は冬季の狀態を脫する能はざりしが南部に至りては中旬より徐々に春季の狀態を示したり即ち氣壓は北西部に高く日本海方面に低く風向は依然として北乃至西方を占め西南兩岸の各地大にして氣溫は平均に於て氷點以下を示したるは北西部の一局部に止まり五度以上に及びたるは南東部のみにして前月に比すれば各地共四度乃至六度の上昇を呈したり降水量は南岸の地に多く漸時北部に向つて遞減し極北東部に至り急減せり結霜は北部に於ては十日以上に達し京城城津は十五日に及び濃霧は木浦に三日仁川に二日ありしのみ低氣壓は六回經過し就中十四日及び二十五日木浦の西方沖合に現はれたるものは全國に風雨を起したれども其他は局部に影響を及ぼしたるに過ぎざりき

●國債報償金と總會 國債報償金問題に關する總會は引續き興士團本部に開催中なるが元來油虫の如き輩の集合なれば到底意見の一致を見る事難く特に京城及地方の二派に別れて頻りに論議攻擊を重ぬる樣は宛然百鬼混亂の觀を極め居れり然れば例の兪吉濬が勃々たる野心を懷藏して其統一整理を計らんとするも一片餓意なき連中のみなれば唯だ徒らに相互混ぜ返へしを交換し居るのみ則ち露骨に彼等の意中を剔抉すれば依然有邪無邪の間に放任し置き滯食の便利を保留せんと期待せるものゝ如し然るに又整理に熱心せる兪吉濬は觀光團一行と共に二十日渡日したれば結局本問題の解決は絕望と見るを得べしと

●群馬共進會と韓國 既報群馬縣主催の一府十三縣聯合共進會に就ては先づ贊否如何を決するの必要ありとて農商工部より度支部の意向を照會中なるが聞く處によれば日韓の關係は次第に密接となり居れるも日本に於ける韓國觀は尙ほ未だ名古屋以西に限られ一步函根を越へて關東に到れば未知半解の裡に在り現に韓國產輸入品の分布に見るも九州及中國の一角を第一とし坂神地方之に亞ぎ名古屋靜岡は近來漸く韓國との貿易關係を有する程なり而して東京以東北に到れば殆んど不關焉の姿なり故に該聯合共進會は關東及東北地方に於ける韓國紹介の最好機會にして名古屋福岡兩共進會と相讓らざる價値あるべしと云ふ

●安奉線工事と糧食 安奉線改築工事區域中百餘哩間は殊に寒村僻地にして交通頗る不便なるを以て從來居住民の日常の糧食すらこれを得るには甚だ困難なりしに解氷と同時に工事着手のため同地に入込み來りし苦力は既に一萬二三千人の多きに上りたるが愈よ工事盛期に至らば尠くとも五六萬以上の勞働者を見るべくさらぬだに供給力不足なる同地の食料品は愈よ不足を告ぐるに至り勢ひ物價の暴騰となるを免れざるべく斯くては豫定の工事費に大影響を及ぼすべきを以て當局者は目下同地に對する食料品供給方法に就き種々工風し居れりと

●京畿道の韓人戶口 過般來施行されたる戶口調査に就き京城憲兵分隊管內は此程終了したるが其の區域は京龍仁水原等の都會地を除きたるものにて今京畿道の戶口數は實査前の概數七萬八十六戶二十六万千六百六十五人なりしに實査後の精數に依れば七万三千百十戶男二十一萬七千七百十八人女十四萬六千百六十八人計三十六萬三千八百九十七人にして戶數は三千余の差に過ぎざりしと雖も人口に到ては十万と云ふ驚くべき增加を示せり之れを全般に推せば實査後の戶口數は豫想外の增加疑ひなかる可しと

●警備船の島嶼派遣 木浦警備所には從來五隻の警備船ありて近海を警戒しつゝあるが今日迄は其何れも木浦港を根據として航行せる爲め勢ひ同道法聖浦方面等の遠洋は其警戒幾分疎なるを免れざるのみならず海上不穩ならざる時は木浦に在りて同地方の警戒を爲すには多少の不便無き能はざるより今回十五日交代を以て警備船二隻を法聖浦に廻航せしめ同地に根據を有せしめて古群山蝟島其他の漁場沿革島嶼を警備せしめ暴徒海賊の警戒海上警察の取締りに任せしむる事となりたり

●理事官の諮問事項 別項記載の如く三浦理事官は取引所設置問題に付き京城商業會議所へ諮問する所ありしが其主なる事項は左の如し

一、貨物集散の狀況は請願人の云ふ所と實際と符合し居るや否や
一、取引所の設置に依りて相場は一定し得るや否や
一、取引所維持の方法如何

●派出檢查と手數料 海關派出檢查特許手數料の件は勅令二十九號を以て發布されたるが其料金規定は左の如し

一、特許を得たる地が開港內又は稅關所在地なる時は稅關監吏一人に對し一ケ月金十五圓
二、特許地開港外なる時は稅關吏一人に對し一ケ月七十圓並旅費所要額

●勅額奉戴式の舉行 義州翊原學校にては去る十一日賜額奉戴式を舉行せるが主なる官民父兄を招待して校長代理副校長崔錫夏賜額を奉揭し一同敬禮を捧げたる後一應の挨拶を述べ柳觀察使の祝辭ありて散會せり

●文官詮衡委員任命 今回內部は警視廳文官普通詮衡委員を左の諸氏に任命せり

命警視文官普通詮衡委員長　警視　永谷隆志
命同上委員　警視　青木戒三
同　濱島尹松

●土地調查局の會議 度支部にては二十日午前九時より次官室にて土地の調査に關する會議を開きしが出席者は荒井次官、俵副總裁、鈴木局長、菅田、藤川等の書記官なりし

●水原學校組合設立 去る十七日水原在留日本人會は居留民役場を廢し更に學校組合設立の件に關し協議會を開きたるが協議員一同一致を以て之を可決し設立委員を舉げたり

●龍山の埋築地許可 龍山埋築會社の渡邊五郎氏等より請願したる龍山元町一丁目地端漢江水面埋築の件は四月十八日付を以て許可さる

●戶口調查の成績 昨年來警察官憲に於て着手中なる全國戶口調査は着々として進行しつゝあるが京畿、黃海、江原三道に於ける分を聞くに人口は調査前の豫想より約三割強增加すと

●林田事務官出張 林田內部事務官は地方行政視察の爲往復約二週間の豫定を以て廿二日江原道に出張すべしと

●早大校友會開催 來る廿五日天眞樓に於て在韓早稻田出身懇親會を開催す希望者は理事廳長野迄申込むべしと

京龍合併の大勢

京龍兩民團合併に就ては龍山側は三浦理事官の慫慂に基き逸早く交涉委員を撰定し京城民團へ通知し來りたるを以て京城側にても既報の如く過日協議會を開き合併の可否を先決問題として調査委員會を設定せり而して該調査委員會は軍隊の送迎其他種々故障の爲め未だ一回も開催せざるが今茲に合併に關する議員の意向を窺ふに

贊成　中村再造、和田常一、山口太兵衛、釘本藤次郎、前田熊市、關繁太郎、城六太、曾我勉、梶原末太郎、計九名
反對　中島司馬之助、皆川廣濟、秋吉富太郎、田中始一郎、村田金次郎、石井新計六名
未定　大村保太、森勝次、藤永達次郎、計三名

則ち贊成九名に對し反對六名なるも三名の未定議員あれば其向背如何は以て大勢の決する處なるべし而して贊成側にも種々の意見あるが如く反對派にも亦夫れ〳〵相當の理由あり中島司馬之助氏は若し兩民團合併せば京城居留民は龍山經營の爲に年々三萬餘圓の負擔を增額すべし此巨額は京城現在の狀勢にては頗る苦痛を感ずる處なりとて絕對的の反對を唱へ皆川廣濟氏も亦之に同じ眼前不利益を知りつゝ合併するは居留民に對する不忠の甚しきものなりとし秋吉富太郎氏は日韓兩國合併の機運既に熟し遠からず實現せんと云ふ今日漫りに枝葉の民團合併問題を決するは一考を要すとし時期尙早的の反對意見を持し居れり其他石井、田中、林田諸氏は損得の點より孰れも反對を唱へ居るが更に贊成側の意見を叩くに現在の京城は次第に南進の傾向を有し龍山は最も其發展の恰適地なり特に京元線は龍山に起點を定められ同地の將來は多々倍々矚望するを得べし此際年額三万圓位の增負擔は必ずしも將來の利益を採算すれば毫も苦痛とする處にあらず若し夫れ日韓兩國の合併近き將來に於て現實せんか今の內に各種の設備を施行し置かざるべからず例へば六十万圓の團債を以て道路公園公會堂其他各般の必要設備を經營するも兩國合併の機到らば市政も亦日韓統一せらるべく故に此場合に際會せば團債は其儘新市政に引繼ぐを得べし而して若し此際之を閑却して眼前の小失のみに拘泥せば悔を永遠に貽し臍を噬むも尙ほ及ばざらんといふにあり則ち吾が同胞の爲めに必要と認むべき事は大に之を經營し置くべしとて高飛車主義の大抱負に基くが如し更に一方龍山側を見れば現在の狀勢到底自治の目的を遂し難きを覺知し殆んど無條件を以て合併せらるゝも敢へて辭せざる意向を漏らし居れり然れば此問題の解決は京城側の斷案に待つのみとなれり(電通)

新師團長の着期 今回第六師團に代りて渡韓せる第二師團師團長松永正敏氏は二十二日午後八時三十七分龍山着の筈なり

●平壤韓銀營業近況 韓銀平壤出張所の本月上半箇月間に於ける營業狀況を報せんに十五日帳尻は貸出現在額四十二万三千四百圓同預金現在額三十一萬五千二百圓なるが一般金融狀況は解氷後頗る活潑にして一般商勢は回復し穀物の買入雜貨の輸入等盛なるも未だ堅實なる狀況なるを斷言する能はず隨て多少の警戒を要するものあり貸出增減の理由に就ては最近三萬二千圓を增加したるは穀物の買入及雜貨の輸入資金等の需要を增したると其他の理由に基くものなり同樣預金に就ては最近二万三千圓減じたるは貸出增加の理由と同一にして即出入市場金五萬五千圓の資金を要したる所以也

●韓國豚の改良獎勵 韓國に於ける獸肉の需要は比較的多く而も社會の進運に供ふて增加すべく從つて豚肉の如きは最も必要を感ずるに至るならんも現在に於ける韓國豚は凡て天然種の晚熟寡肉最劣等の種類にて僅かに平安北道地方も淸國產との雜種ありて稍見るべきに是れ暗夜の明星に類し殆ど韓國豚は談るべき價値を有せざる有樣なるが農商工部にては此邊に意を注ぎ是迄水原模範場にパークシャー種を購入し豚種改良を獎勵し來りしが今後一層勵行するの方針なり然して同種は早熟にして強健肥肉如何なる土地氣候にも適し豚種中最良のものなりと

●石首魚漁期と保護 全南蝟島に於ける石首魚漁業は既に其漁期に入りたるが長崎縣の該漁業者は群山に於ける同縣移住漁業者八戶の漁民を合せて鮟鱇網漁船百餘艘を仕立て去る八日群山を出帆し蝟島に向ひたるが熊本佐賀福岡の各縣よりも續々出漁しつゝあるを以て朝鮮海水產組合木浦支部より漁船保護の爲め第五號の巡邏船木浦警備所より第二號、第四號の兩警備船を同島に派遣したる由なり

●經濟界近況と仁川 中央經濟界の狀況は依然不活潑の有樣にして其他の地方と雖も漸次活氣に向ひ各市場の人出稍增加の傾ある位に止まり一般に今尙は市況振はず獨り是まで沈衰し居たる仁川に於ける商取引は稍活氣を呈せるに似たり是れ米價次第に恢復せるを以て地方貿殘り穀物の出廻りありて滿洲方面輸出米の增加せるに依り商界漸く繁盛を見るに至りたるものにして各銀行共多少貸出金を增したり然して同港に於ける出廻米は主として忠淸黃海全羅の三道よりの入船にて每日平均千五百俵內外を算せり

●工傳卒業生の科別 十九日舉行の第二回官立工業傳習所卒業式に於ける證書授與者科別は如左

染織科十二名、陶器科十名、金工科十名、土木科八名、應用化學科十名、土木科九名、計五十九名

尙は之を出身別すれば左の如し

京畿道十名、漢城府十名、忠淸南道十五名、慶尙南道三名、慶尙北道一名、平安南道四名、平安北道七名、黃海道四名、咸鏡北道一名、忠淸北道三名、咸鏡南道一名

●江華島石材と販路 京畿道江華島東幕及び乾坪の石材は結氷及其他の關係上採堀自由ならざりし所先日來盛んに伐出に從事するを得目下一ケ月の發堀高乾坪に於ては八百方才價格壹千圓東幕に在りては五百方才價格六百圓に過ぎずと雖ども同地方に於ける石材は頗る豐富にして殆んど無盡藏とも云ふべきを以て當業者は其販路を擴張し益發展をなす計畫中なりと

●共進會觀光團出發 京城日報社主催の韓人觀光團五十餘名は二十日午前七時京城日報社に集合し徒步にて停車場に赴き同所にて原田京城日報主筆主催者として一場の挨拶を述べ次で古城民長、張博、趙羲相、兪吉濬氏等の答辭あり午前九時發列車にて渡日の途に就きたるが石塚長官各部大臣其他文武官數百名停車場に見送れり

●取引所問題諮問會 韓國取引所設立問題に就ては三浦理事官は最も愼重に研究を要するものと認め其可否を商業會議所に諮問せしが同所にては十九日午後七時より總會を開き直に竹山純平、林田金次郎、小川勝平、近藤佐五郎、池田長次郎の五氏を調査委員に推擧し散會せり一般の意向は孰れも好望を認め居れりと

●光州農銀新築決定 光州農工銀行は本年度の豫算を以て之れが新築の決定を見るに至り建築費壹萬五千圓にて近々起工さるべしと云ふ

●澤田局長一行消息 南韓視察中の澤田地方局長一行は十日全州より群山に向ひ二十一日江景を視察し夫より忠南公州に向ふ筈

●平壤觀光團の出發 平壤觀光團二十三名は來る二十三日同地出發日本へ渡航する筈なり

●仁川民團種痘勵行 仁川居留民團に於ては二十日より市民一般に對し種痘を施行する筈なり

●陳吉氏の歸任 入京中の咸北警察部長の同氏は十九日出發歸任

●湯淺秀富氏入京 平南警察部長は十九日出發入京

●岩崎支配人出發 全州農銀支配人岩崎虎次郎氏は十九日出發

●土屋支配人出發 平南農銀支配人土屋彥太郎氏は十九日出發

●岩崎直英氏歸仁 十八日入京せし仁川民長の同氏は十九日出發歸任せし

●正誤 昨紙第二面欄經濟小言記事中初行吉長鐵道四十五年は四十四年の誤

▲治外法權▼

桂總理が片瀨へ出掛けた、之れで曾禰さんが偉くなつた、苟くも總理をして態々足を運ばせた曾禰さんは偉らいのだ、併しコレと云ふのも其れ隊で曾禰家は胃癌の爲めに名譽が揚がつた▲合併が將來するの今日相變らず韓人虐待を心得居る馬鹿者が邦人中に澤山あるさうだ、今一々例を擧げて爭ひたくないがドウカ馬鹿共を反省させたい▲往年京釜鐵道の工事に際して澁澤男は技師長として足立を任命した、ソウして此任命に尠からぬ條件を附した▲是より先き京仁線を造つた、此線の工事に日本人技師は韓人工夫を鄉る、虐待をやつた、澁澤男の足立に與へた條件は京釜線の工事中韓人を如何なる理由の下にも決して虐待してはならずと云ふのであつた▲他年京釜線が出來上がつた、其時足立は澁澤男に向つて最後の報告を出して其報告文中に曰く余は本線起工の日より落成の今日迄韓工夫を虐待せずして了れり、閣下安心せよと▲足立君はドチかと云へば氣早の人だ、此人にして澁澤男の命を守つて韓人虐待の愚を演じなかつたのは實に多とすべしだ、澁澤男の命には深い意味があつた、足立君なる哉澁澤男の命を守るべしだ▲京城實業新聞報を收するが甚だ怪しからぬ事だ、此頃內地から來る新聞閥が非文明の手先を勉めるのは褒められぬ事だ。

シガー、ブドウ酒、ブランデイー、洋菓子、果物カン詰類、シガレツト、シヤンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン
卸小賣
歐米雜貨洋煙草類金銀屬美術品直輸入商
京城本町二丁目
辻屋
支店電話三六六

名妓洗髪のれ妻(三)

▽洗髪で駈け附ける ▽百美人當選の名妓

披露目から賣出しが、斯んなに他の姐者衆とは自然違つた行方になつて了つたものですから、私の身の上は丁度〳〵變つて行きましたよ、女といふものはいふ一番が大切道中雙六の振出しが肝腎ですね、そんな斯んなで花の家の主妻で、自前で稼いでると名前が高くなるやうになりましたが、其れだけに私が何も彼も辛い事ばかりぢや無くて、眞實に不思議な廻り合せだつたです、其れが私の洗髪のれ妻と人様に喚ばれるやうになつた初めですが其話は斯うなのよ▲夫れ〳〵淺草の十二階に日本百美人の投票がありましたね、引延しの大寫眞を出してさ、玉川屋の玉菊さんだとか、吉田屋のやまとさんなんか、高點であつた時ですわ、あの時に新橋の[illegible]

[illegible]子を割らしてザブ〳〵と髪を洗結をブツ〳〵と切つて捨て、卵の[illegible]分ばかりは大概、寢亂髪の根元の元つたもの、れ湯を沸かしてゐる暇が無[illegible]

いのでせう、氣持が惡いが其んな事を云つてられないのですから、前の晩に洗つたといふ有様で、[illegible]網曳後押二人掛で、十二階へ飛んで行きました▲日吉町から公園までゝせう隨分と長途いわ韋駄天といふ有様で風を切つて行くのです、家を出る時には未だ干ぬ濡羽髪も途で乾き切つてサバ〳〵、後ろに吹散らして行きました、私の氣のみがもう十二階へ行つてるわ、やう〳〵の事で間に合ひまして撮影して了ひました、前髪の三本の長い毛を剪つて[illegible]百人の美人が掲げられた處を見ると皆が皆、大コテ〳〵の厚化粧、仲の町の手古舞姿もあれば、新橋連中はグット高尚に構へて、大抵は小紋といふ扮装でせう、其間に挿つて私一人が其の洗髪姿ですもの、れ金をかけてのでしたが、少しは[illegible]の高點は取れませんでしたが、少しは眼に立つ筈でせう、[illegible]のは洗髪のれ妻〳〵と人様に云はれた上に、人間が斯んなに鐵火な女と思はれ[illegible]其實れ嬢さん藝者と[illegible]心は溫順しいので[illegible]

戀の暗乙女の道行

▽許婚の夫を慕ひて ▽惡韓人の誘拐未遂

花に明けては醒に暮るゝ去る十九日の午後七時頃東大門外清涼里の邊りを遊山客の家路に急ぐ間を縫ひ東に急ぐ男女の一組、女は人目を被衣に避け男の陰に引添ひて後れじとする小走りの足の運び縺れぬらし花靴、脱るゝともすれば遲るゝを[illegible]る言葉の端に物腰に何所あるを何所やら怪しと見たる巡回中の韓巡査が有無を云はせず東部署に連行したるより調べたる所自分は銅峴の汝ざと云ふ者にて此の女う自分が爲めには生命懸女房久しく實家の兩親のぬが心掛り一度伴れてなき頼み親子の情實にないて此れ迄伴ひ來り馴れぬ歩の遲れしためまれたる迄にて決してと立派に言ひ切る口の恐る〳〵退ひ出でゝイエイでは御座りませぬ此のらまた一つ疑は致しませねど親と親とが許したる立派なユンガミが廣州郡は五里坪にありまするが名は金永成と申しまして夫れは〳〵美しい好い男前、其の殿御前と晴れての婚姻の日が待ち遠しさに兩親の眼を忍び押し覓け女房と出掛けんと彷ひ出でたる途中にて出會ふたのが此の朴さんにて戀しい殿御に逢ひたさの一念から打ち明け話し斯う〳〵とツイ一寸話しましたらそんなら俺が伴れて行つて遣らうと心切に言ふて下されたで迂濶々々伴れ立ち參つたまでアダ嫌らしい朴さんづらの女房なぞとは汚らはしいれ耻もじさまやと夕霞顔に被布の袖屏風消わも入りたき風情なるに係りの警官は懇ろに其の不心得を諭し朴には大目玉食はしたるに兩人さもに恐れ入つてぞ退りけるとか

女振り

田中始一郎氏夫人 田中とよ子

始一郎君は人も知る本町三丁目の田中時計店の主人で商業、民團兩會議員である、夫人とよ子は本年三十七歳で大和國添上の郡、奇丹よし寧樂の都の生れである、云ふ迄もない奈良は桓武奠都このかた千年の古都である、夫人が克く謙讓他に勝らず、溫柔他に悖らはざるの美德を有せらるゝは惟ふに此の古都を包擁せる山容水態の感化に負ふ所あるは疑ひなき所である、始一郎君は福岡の產で令弟兩人は現に當地にありて令兄の事業を翼賛して居る、が男同士の加之遠慮のない骨肉の親であるから時に小衝突を來さんとすることもないではないが然る場合には常に夫人は調停者の地位に立つて巧みに之れを調和して了ふと云ふ風であるから一家は何時も和氣靄々たるものである、本宅は明治町一丁目にあつて夫人は此所より殆んで一歩も外へは踏み出さない、夫れで始一郎君及び其の令弟は素より店員に至る迄悉く飯は此の本宅迄食べに行くので、上下の階級なく膳を並べて夫人が心盡しになる鹽梅に舌鼓を打つのである、夫人が金科玉條とするのは一家の主婦は一家のものに美味三度の御飯を食べさせるにあると云ふことで從つて其の苦心は實に容易ならぬものである、十二歳を頭に末が二歳の四人の子持ちで夫れが又皆んな女のれ兒さんであるから御心配は大抵でなからう。

● 詐欺者の處刑 島根縣松江市天神町四十一番戸平民人夫當時永樂町一丁目十六番戸井上倉三郎(四一)は明治四十二年十一月南部明洞金東熙より借用したる元利金百四十圓の返濟期日なる本年一月十五日に辨濟を怠り債主より嚴重に督促を受けしより茲に惡桂庵を携じ永樂町一丁目木下億次郎と知己を幸に同人に對し右韓人に負へる債務支拂の延期を求むる爲め金百四十圓を見せる必要あるに付直ちに其の場に於て返却すべければ債主同道の際は一時金百四十圓を提供あり度き旨を依頼して同人を欺き一方金東熙に對しては該返濟金百四十圓は木下に預けあるから同人宅に於て支拂ふべくと二月十一日東熙を同道して木下方に行きしより木下は約束通り百四十圓を提供せしかば井上は之を金東熙に交付し其儘木下より騙取したるを以て告訴され爾來京城地方裁判所に於て審理中の處去る十八日懲役二月に處せられたり

● 轢死者遺品處分 本月十七日午後八時南大門驛發列車で古市鐵橋附近に於て一人心中せしものありし事は既に報せしが轢死者が居住せし本町十丁目の居宅に書置一通あるより家主平野長吉より銅峴分署へ屆出たるに付同署巡査出張取調べたるに遺留品は平野樣より處分して呉れとの依頼狀に付警官は平野に對し該處分を命じたるに平野は拒絶したるより遺留品布團二枚外八點は銅峴分署に保管せりと

● 達磨の無錢酒食 長崎縣平民當時旭町二丁目廣瀨館止宿反物行商人牧島傳(三三)は十九日夜十時頃長谷川町二丁目の飲食店だるま亭に登樓し翌二十日午前三時半頃迄酒食したる代金五圓餘の額に上りたるが定まりの懐中無一物にて明日迄待ち呉れと此の不景氣も知らず顔に伸氣なことを云ひ出せしも元來足のないのを喞てるだるま亭では之れに應せず結局南部署に突き出されたるが旅館より金を取りよせて事濟み

● 韓人の行路病者 十九日午後七時三十分西部石橋派出所巡査より尼洞街路に行旅病者ありとの報知により西部署巡査現場に出張取調たるに西部盤松坊尾洞九十三統十九戸酒商鄭德許家屋左側道路に韓人男住所氏名不詳三十位の者にして身体非常に衰弱し手足の自由及言語を發する能はず統長金弼弘に保護を命じたりと

● 南署の健康診斷 風俗取締に就ては近來各警察署に於て嚴重取締中なるが就中南部警察署管内の如き仲居酌婦營業の許可を出願する者日に劇増したるを以て客月施行したる健康診斷の結果多數の有毒者を出したるを以て昨二十日再び料理店及飲食店の抱女に對し健康診斷を受くべき旨夫れ〳〵通達し其の結果有毒者は嚴重に治療を命ずる筈なりと

● 清人の葉錢輸入 清國石島に船籍を有する帆船永福號にて王福先(三八)林三(五)王業柱(三八)の三名共謀の上國禁を犯して清國葉錢二千三百七十九磅を去る十二三日頃群山港に輸入せんとし窃かに陸揚中群山署員の手に取押へられ天野理事官の手を經て去る十七日仁川清國理事府に護送し來り目下嚴重に取調べ中なるが近く嚴刑に處せらるべしとなり

● 變死者身元判明 曩きに北部城外延禧坊の松林中に清國人の變死者ありて他殺の嫌疑あるより清國巡視廳及東部署に於ては極力嚴探中の由は既報の如くなるが右變死者は清國山東省生當時當地南部光宜門内に居住する士工王許德(三五)なる者にして精神に異狀を來し自殺せること判明せりと

赤穗義士(二)

佐々木信綱作歌 田村虎藏作曲

(六)急使の報に接したる
家老大石內藏之助
心の中に人知れず
堅く決する所あり

(七)在國家臣一同の
登城を急に促して
江戸に起れる變を告げ
善後の策をぞ問ひにけり

(八)三日に渉る大評議
城を枕の籠城と
決せし時に殘りしは
六十余人の忠義の士

(九)なほも心を試さんと
とり出したる試金石
殉死も敢て辭せずてふ
血判狀ぞいさぎよき

● 神來畫伯の畫會 畫伯天草神來氏は四月三十日五月一日の二日間京城日本人商業會議所に於て昨年來丹精をこめて執筆中なりし出山の釋迦、伏せ姫、雨中の山水其の他百餘種を陳列し畫會を開く由にて各參與官を始め多數の賛成者あり同好者の申込みも頗る多しとの事なるが當日は青年畫家水山美邦氏の故伊藤公の肖像其他も陳列すると云ふ

● 日本人怪獸を放つ 忠清北道堤川郡邑にては近來猛犬の盗去せらるゝ事頻々たるより該地方民は是れ日本人が無數の怪獸を放ち吾等を惱害せしむるものなりなど奇想天外の流言を傳へ暗に排日の勢焔を煽ほりつゝありと云ふ其愚や憐むべく其狡や惡むべしと同地近信に見ゆ

● 淨土宗開教院 明治町の同院にては例年の通り十九日より二十五日まで宗祖圓光大師の御忌法會を執行し毎日午後二時及八時より法要說教をなすといふ因に同法會は後柏原天皇の『十七晝夜法然上人の御忌と修すべし』と敕せられしより特に御忌と稱するよし

● 倶樂部の開放 仁川倶樂部にては來月一日より會員外の人と雖も玉突其他の來遊隨意たるべく開放主義を取るべしと云ふ

● 統監府員の汐干狩 來る二十四日統監府員一同は仁川京城理事廳員と共に月尾島沖にて汐干狩を催す由なり

● 質屋組合運動會 仁川質屋組合員一同は來る廿四日万石洞にて春期運動會を開催する筈なりと

中村時子の初日

▽壽座に出演する

既報の如く女俳優中村時子一座は二十日夜乘込みたれば一兩日中に初日を出すべく同座の特色は數年間團結したる一座とて各優の意氣の合ふと衣裳の立派なる事なるが座長時子は幼少の頃より天才の妙技を有し斯界の麒麟兒と稱せられ至る處實に非常なる喝采を博し居れり今初日の藝題及配役を聞くに左の如し

壹番目『伽羅先代萩』序幕花水橋の場二幕目竹の間の場、三幕目御殿政岡忠義の場、四幕目對決の場、返し彈正殺しの場、中幕『將門山相馬旗揚』御目見得だんまり一幕、二番目『神靈矢口の渡』頓兵衛住家の場一幕 沖の井、男之助、細川勝元、大國太郎(訥茂丸)黑澤勘解、鶴加藤太、成駒軍次(五郎)山中鹿之助、伊達他平(い三郎)惡僧金剛坊、船頭頓兵衛(政五郎)岩堂砂左衛門、義峯公(訥四松郎)蛙仙人、船頭六藏(九〇)鶴喜代君、娘れ舟(八重咲)怜千鶴、うてな(芝女六)細川谷殿、宗全公、丈平太(錦太郎)額兼公、榮島、渡邊民部、田舎娘(螃蛤)八汐、外記左衛門 狐狗狸)乳母政岡、仁木彈正、將門(時子)

目と耳

▲歌舞伎座 休演中なりし同座淨瑠璃大會は又々開演したるが二十一日夜の語り物左の如し 大功記十(〇〇)かゝみ山三(さくら)布引瀧四(若松)壺山權現、毛谷村(巽駒)三勝半七酒屋(玉司太夫)下本櫻すしや(清太夫)忠臣藏九段目(越尾太夫)大切千兩幟(總かけ合)

今日の運勢

四月廿一日舊三月十一日二黑先勝丙辰建△一白 運の日なり創業開始凶保證受印世話事を禁ず△二黑 中宮日なり南方は吉新居見合ノ事盗害酒色の害を戒しむ△三碧 妨碍多き日なり中傷誣妄の恐れあり子探ノ事を計るには尤も凶△四綠 紛紜多からんとす金品授受取引證券の上に注意すべし尚誘惑防ぐべし△五黃 義と情のために損害失厄にあひ易し職務上に疎漏失念起り易し△六白 快欣の日なり大凡吉慶續いて事業に尤も妙△七赤 共同其他團体組成に適好の日なり但し禮を欠す勿れ△八白 整理方針替等宜し家族從者の事に煩累わらん△九紫 接見相談出願等良好旅行移轉凶(本町五丁目三一館判斷)

京城居留民團公文
京城居留民團告示第二二號
當民團立櫻井尋常小學校ハ本月十一日付ヲ以テ在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ依リ指定セラレタリ
明治四十三年四月十九日
京城居留民團民長 古城菅堂

廣告
購買公告
一 撫順切込炭 壹百英噸
右購買ス入札希望者ハ本日以後ノ官報又ハ本局及平壤水道事務所ノ掲示ヲ見ルベシ
隆熙四年四月廿日
內部土木局

廣告
一 韓國產 薪炭柴
右今般左記之處に於て營業場を設け大勉強安直專心販賣可仕候間陸續御注文之程希候也
京城西大門外電車通り
西部盤松坊權政承契阿峴洞
薪炭柴問屋 高芝惣太
各位

移轉 擴張
從來明治町一丁目に於て營業中は各位の多大なる御愛顧により日增隆盛の域に赴き候段奉深謝候就ては在來の店舗にては狹隘を告げ候故今般業務擴張と共に京城本町二丁目に移轉仕候間此段謹告仕候也
貴金屬細工 金銀類 寶石美術品
京城本町二丁目
高木二樂堂
電話九九一番

讀め痛絕快絕の處世談
法學博士農學博士 新渡戶稻造君序 井上泰岳君編
我處世觀
本書は現代各方面の代表的四十名家が各其の實驗上處世の要義、活動精神の大本より、養心、力行、服務、蓄財の要件に至る迄委曲詳述せざるなしと云ふべし 名家が處世の道を說破したるもの、人間生存の根本を明らかにし活社會に奮闘せんとする者には此書正に指針たり燈たり
全一冊 諸名家寫眞插入 菊判四百頁 定價五十五錢(郵稅八錢)
井上泰岳君編 我が半生の奮鬪 再版 四十五錢(郵稅八錢)
東京本町 博文館

諸看板製作
油繪肖像畫●硝子金文字入
ペンキ塗工事大勉強請負
永樂町二丁目 赤門通り
椹野工舍

營業品目
藥種化粧品、薪炭類
日用食料品、諸雜貨
龍山元町四丁目 電話六三八番
電話又は葉書にて御一報御屆申候
武藏屋

京城本町五丁目
易斷 觀相 敎授
館主 土御門派陰陽師
三一館

龍山榮町
青竹 薪炭 ガラ石炭 蒲團蚊帳
質屋
角屋

消毒牛乳(保證附)
フレッシユバター(新鮮乳油)
韓國畜產株式會社
南大門外 電話八八番

弦齋流割烹
並に歌舞伎辨當
材料の豐富と技倆の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候
京城南山町一丁目
すほ祢
出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可仕候(電話一五〇二番)

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九
ゑり徳商店

廣告

民事刑事其他事件の鑑定債權取立契約書案證書會社定欵の作成
右迅速確實に依賴者の滿足を旨とし事務取扱候間事件の大小を問はず御來談あれ
京城裁判所前
金澤法律事務所

入院隨意
內外科
小兒病
梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

滋養と牛乳
純良
牛乳
京城東四軒町
岡野牧塲
電話壹〇六九番
馬車配達
衛生と消毒

木材賣却廣告
一 鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目
建築業 柴田芝六
電話五百六十八番

胃腸新薬
タカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目電話八五〇番
竹田津三平

◎來る五月新學期開始
▲講義錄大判百五十頁內外每月二回發行 內容懇切、平易、疑解の要なし
▲月謝四十錢割引の制あり 規則郵券貳錢添へ申込あれ

校外生募集
日本大學法科講義錄
◎特點 本大學講義錄を修了したる者は法學得業士の稱號を許認
◎特色 本大學校外生にして每年高等文官判檢事辯護士試驗に登第せらるゝの士多く好評嘖々たり
監事 司法省民刑局長法學博士 平沼騏一郎
理事 貴族院議員法學博士 石渡敏一
學長 貴族院議員 松岡康毅
前農商務大臣
東京市神田區今川小路二丁目四番地
日本大學法科講義錄出版部
電話本九六五番振替口座東京二〇四八〇番

東京
足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商塲內ニモ出張店アリ

金魚各種
卸小賣
陸軍御用達
龍山山下町一丁目(兵器支廠官舍入口)
馬木勇吉本店
電話三六四番
茶器商
京城本町五丁目一番戶角
馬木勇吉支店
電話四七一番

ゑし道樂
鯛松たけめし 一人前三十錢
あなご竹の子めし たなしく
鶏ゑんどうめし たなむく
豫てなじみの大阪美人、御光來の程を待ちかねて居りますから、御賞味を賜はりたう、尚は多少によらず出前も仕ります、呉々も御用命伏して御願申上げます
大和町三丁目梅の家眞向ひ
電話七三五番
明月

會席御料理
北米倉町 電話千六百二十四番
品川樓
各位の御引立に依り日々繁昌仕候段誠に難有奉存候就ては聊か御眷顧に酬ゆるの方法として今般東京淺草ロツクにて有名なる岩壽しの名人を板塲に雇入れ候に付き花見御遊山等の御壽し御辨當は至極御手輕にて精々相働き候間何卒御用仰せ付け被下度願上候

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐アシン
穀物食鹽
諸染料類
韓國官衙御用品調達
委托販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山鹽合資會社鹽特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地(電話新橋三六九二)

預金利子改正
韓國銀行
當行預金利子本月十八日より左の通り改正致候
一定期預金 壹ヶ年 年利五分 六ヶ月 同 四分五厘
一當座預金 金百圓に付日步 七厘
一特別當座預金 同 日步 壹錢
一銀行業者當座預金 同 日步 八厘
隆熙四年四月

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて
「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも卸直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウヲルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
時計御商 仁川本町三丁目(電話七〇五番) 喜多金光堂本店
時計御小賣 京城本町二丁目(電話一〇二五番) 喜多金光堂支店
右特約店 京城本町一丁目憲兵分遣所前(電話三一八番) 金化堂時計舖
右特約店 京城本町四丁目角 中村時計店
各地方より御注文は發送實費申受候

論より證據
來て見りやわかる
食道樂
京城壽町二丁目
電話九四四番

本院は每日(日曜及祭日を除く外)午前九時より午後四時迄各專門醫に診療を依賴す
但松村和田兩先生の診療時間は午前九時より正午迄とす
龍山居留民團囑託
龍山榮町文平山麓
龍山醫院
(電話六〇三番)

やちよ
電話一一八二番
金高の多寡に拘はらず御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の塲所に保管す
流質品と雖も塲所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す
京城曙町
大槻商行質部

最上醬油
仁川港
釀造元 三巴醬油釀造場
電話七壹參番
京城本町壹丁目
發賣元 三巴酒店
電話七五三番
龍山本町三丁目
發賣元 三巴酒店支店
電話五六四番

屋形船
かし船
一御仕出し辨當 一西洋花火 一西洋音樂隊
一御注文に應じ申候
尚ほ兼て注文新造中のボート七八人乘二隻、五人乘四隻、三人乘一隻着仕候間陸續御來遊奉願上候
(但軍人學生ニ割引)
ボート
龍山元町河岸
久留米漁獵團遊船部
電話一〇番

アサヒ
サッポロ
ビール

各科診療
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
入院隨意

明治廿年七月創立
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
支那白菜漬
朝鮮菜葉漬
大賣出し
(電話二五一番)

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
(電話四百十三番)

胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン
蛋白脂肪消化 ヂグスチン
錠劑十五分(三十粒入一瓶)二十錢 散劑一オンス入(一瓶)二十錢
錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢 散劑一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す
韓國一手賣捌元
京城光化門通
●大韓醫院御用藥
大島專藏

入院隨意
內外科
花柳病
京城南大門外
戶田病院
電話九三八番

きゝめのある
温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他內用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町二丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番